

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和4年8月9日)

事業コード	R4-建-新-02	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	バイパス	班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483
路線名等	(一)野崎十文字線	担当課長名	課長 伊勢 弘
箇所名	横手市大雄字新町	担当者名	副主幹(兼)班長 菅原 昭磨
関連	戦略コード	3	戦略名 観光・交流戦略
	目指す姿コード	5	目指す姿名 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築
	方向性コード	5	施策の方向性 高速道路等の整備

1. 事業の概要

事業期間	R5~R12(8年)	総事業費	20.5億円	国庫補助率	55.00																																																																			
事業規模	延長 L=2,960m 幅員 W=6.0(8.5)m (1.25-3.00-3.00-1.25) m																																																																							
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> 野崎十文字線は、大仙・仙北地域と湯沢・雄勝地域を結ぶ一般県道である。生活道路としての利用のほか、国道13号の代替路線としての役割も担う重要路線である。 当該区間は車道幅員が狭小で見通しの悪いカーブも存在し、交通事故が多発している。また、歩道が未整備のため、大雄小学校に通学する児童等が危険な状況にさらされている。こうしたことから地元より道路整備を求める要望書が提出されており、整備の優先度は高い。 道路利用者及び地域住民の安全を確保するとともに、本路線の機能向上を図るため、早期に整備を実施する必要がある。 																																																																							
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> 線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性向上 通過交通の排除による沿線住民の安全性向上 地域の生活圏における交流活性化や利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> 走行時間の短縮による地域間交流の活性化 																																																																							
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>全 体</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td>事業費</td> <td>2,050,000</td> <td>85,000</td> <td>87,000</td> <td>100,000</td> <td>1,778,000</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>1,657,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,657,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>用補費</td> <td>205,000</td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> <td>105,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>188,000</td> <td>85,000</td> <td>87,000</td> <td></td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>国庫補助</td> <td>1,127,500</td> <td>46,750</td> <td>47,850</td> <td>55,000</td> <td>977,900</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>830,200</td> <td>34,400</td> <td>35,200</td> <td>40,500</td> <td>720,100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>92,300</td> <td>3,850</td> <td>3,950</td> <td>4,500</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td></td> <td>路線測量 地質調査 道路詳細設計</td> <td>用地測量 建物調査</td> <td>用地補償</td> <td>本工事 用地補償</td> </tr> </tbody> </table>								全 体	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降	事業費	事業費	2,050,000	85,000	87,000	100,000	1,778,000	工事費	1,657,000				1,657,000	内訳	用補費	205,000			100,000	105,000	その他	188,000	85,000	87,000		16,000	財源	国庫補助	1,127,500	46,750	47,850	55,000	977,900	県債	830,200	34,400	35,200	40,500	720,100	内訳	その他	0	0	0	0	0	一般財源	92,300	3,850	3,950	4,500	80,000	事業内容			路線測量 地質調査 道路詳細設計	用地測量 建物調査	用地補償	本工事 用地補償
		全 体	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降																																																																		
事業費	事業費	2,050,000	85,000	87,000	100,000	1,778,000																																																																		
	工事費	1,657,000				1,657,000																																																																		
内訳	用補費	205,000			100,000	105,000																																																																		
	その他	188,000	85,000	87,000		16,000																																																																		
財源	国庫補助	1,127,500	46,750	47,850	55,000	977,900																																																																		
	県債	830,200	34,400	35,200	40,500	720,100																																																																		
内訳	その他	0	0	0	0	0																																																																		
	一般財源	92,300	3,850	3,950	4,500	80,000																																																																		
事業内容			路線測量 地質調査 道路詳細設計	用地測量 建物調査	用地補償	本工事 用地補償																																																																		
調査経緯	○ 令和3年度 道路予備設計																																																																							
上位計画での位置付け	○ ~大変革の時代~新秋田元気創造プランにおける重点戦略「観光・交流戦略」を推進する事業																																																																							
関連プロジェクト等	<ul style="list-style-type: none"> 横手市通学路交通安全プログラム 横手市総合交通戦略 																																																																							
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> 横手市から道路整備に関する要望書が提出されている。 地元自治会から道路整備に関する要望書が提出されている。 																																																																							
事業効果把握の手法	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">県管理道路における道路改築率(年度)</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>● 成果指標</td> <td>○ 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>52.2%(R7末)</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>51.7%(R3末)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>99.0%</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>令和4年6月</td> </tr> </table>					指標名	県管理道路における道路改築率(年度)				指標式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	52.2%(R7末)		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	51.7%(R3末)				達成率 b/a	99.0%		把握の時期	令和4年6月																																					
指標名	県管理道路における道路改築率(年度)																																																																							
指標式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)																																																																							
指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																				
目標値 a	52.2%(R7末)		データ等の出典	道路課調べ																																																																				
実績値 b	51.7%(R3末)																																																																							
達成率 b/a	99.0%		把握の時期	令和4年6月																																																																				

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現道沿いには小中学校のスクールバスの停車場や「たいゆう保育園」があるが歩道が設置されておらず、現道の交通量から幅員が狭小となっているため危険な状態である。 ○ 当該区間は、見通しの悪いカーブが存在するほか、耐雪幅も確保されておらず、車両のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障をきたしている状況にあり、重大な交通事故が発生している。 	26点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路緊急合同点検の要対策箇所指定されており、早期の整備が必要である。 ○ 当該箇所北側では木内バイパスが供用されているほか、南側では耳取工区及び四ツ谷工区が供用されており、一連の整備効果を発揮するためには、早期の事業化が必要である。 	20点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最寄りの救急医療施設である平鹿総合病院及び市立大森病院へのアクセス道路であり、地域医療支援の観点からも有効性は高い。 	8点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は1.45であり効率性は高い。 <ul style="list-style-type: none"> ・総費用の現在価値 18.2億円 ・総便益の現在価値 26.3億円 ○ 計画交通量は3,900台/日である。 	15点
熱 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横手市より道路整備に関する要望書が提出されている。 ○ 地元町内会より、道路整備に関する要望書が提出されている。 	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	84点
	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (R4-建-新-02)
箇所名 (横手市大雄宇新町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	17	26	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	12		
		1箇所	7		
		該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	35	26	2次改築は配点35点 2次改築は配点26点 2次改築は配点16点 重大交通事故が発生(H22) 通学路指定で歩道なし
		2項目該当	26		
		1項目該当	16		
		該当項目なし	0		
計		35	26		
緊急性	道路を取り巻く環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	7	7	横手市総合交通戦略
		なし	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	7	7	通学路緊急合同点検における要対策箇所
		なし	0		
同一路線の整備状況	整備済み	6	6	木内工区、耳取工区、四ッ谷工区	
	未整備	0			
計		20	20		
有効性	道路の位置付け				
	地域コミュニティの確保 (公共交通、公共施設・交流施設など)	該当する	5	5	大雄庁舎
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	5	3	平鹿総合病院、市立大森病院 当該路線及び接続する路線に救急医療施設はないが一定の効果あり
		アクセス性向上に貢献	4		
		アクセス性向上に一定の効果	3		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5	0		
	該当しない	0			
計		15	8		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	B/C=1.45
		1.0未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	3,900台/日
		500台/日以上1,000台/日未満	3		
		300台/日以上500台/日未満	1		
300台/日未満		0			
計		15	15		
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	要望あり	10	10	横手市より要望書
		要望なし	0		
	地元の協力体制	あり	5	5	新町自治会より要望書
		なし	0		
計		15	15		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		